

ISO 23776

Meat and meat products – Determination of total phosphorous content 肉及び肉製品－総リン含有量の定量

1. 規格の概要（仮訳）

当該文書は、家きんや家畜を含むあらゆる種類の肉及び肉製品の総リン含有量を測定するための3つの方法を規定している。

- 誘導結合プラズマ発光分析(ICP-OES)法
- 分光分析法
- 重量分析法

ICP-OES法の場合、質量が0.5gの試験片を50mLに定容した場合にあっては、検出限界(LOD)は1.0mg/kg、定量限界(LOQ)は3.0mg/kgである。

2. 発行状況等

2019年2月にISO 2294:1974及びISO 13730:1996の統合版のISとしての新規作業項目として承認され、2021年7月に第1版が発行された。

3. 規格の構成（仮訳）

まえがき

1 適用範囲

2 引用規格

3 用語及び定義

4 原理

4.1 誘導結合プラズマ発光分析(ICP-OES)法

4.2 分光分析法

4.3 重量分析法

5 サンプリング

6 誘導結合プラズマ発光分析(ICP-OES)法

6.1 試薬

6.2 器具

6.3 手順

6.4 測定

6.5 計算及び結果の表示

6.6 検出限界

6.7 精度

6.8 併行精度

6.9 室間再現精度

7 分光分析法

7.1 試薬

7.2 器具

7.3 試験サンプルの調製

7.4 手順

7.5 校正グラフ光電

7.6 計算

7.7 精度

7.8 併行精度

7.9 室間再現精度

8 重量分析法

8.1 試薬

8.2 器具

8.3 手順

8.4 手順上の注意

9 試験報告書

附属書 A(参考) 国際試験室リングテスト (ICP-OES 法)

A.1 概要

A.2 リン含有量の試験結果の統計分析

参考文献